

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
1	中村 勘太 北條 悠子 鈴木 昭生 小林 優子 桑波田 悟 滝石 有紀 野村 祐希 早崎 直子	Benesse キャリアナビ iPad
○必修 学校必修 必修選択 自由選択		

◆学習の目標

1. 社会の変化に対応するために、課題発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、学び続ける意欲と態度を理解する。
2. 将来の進路を見据えるために、高校卒業後の進路について情報を主体的に収集し、適切な進路選択ができる力を身につける。
3. 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いに切磋琢磨することに喜びを見いだせる逞しさと、心身の健康管理ができることを考え、主体的に参画しようとする態度を養う。

◆主な学習内容・方法

1. キャリアナビを中心に、課題解決のために必要な方法を学習するとともに、進路理解を深める。
2. 大学における高度な教育・研究に触れる機会を提供することにより、高校生の個々の能力や適性の伸張を図るとともに、大学に対する理解を深める。
3. 企業人講話から、実社会で求められる人物像と高校生活で身に付ける必要がある力を学習する。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

1. 事象を科学的に見る力，論理的思考力，論理的記述力を身に付ける。
 2. クリティカルシンキングを働かせ，社会の課題を発見する力を身に付ける。
 3. 自身のキャリアプランについて主体的に考え，実現に向けて行動する力を身に付ける。
- 〔観点別評価の評価規準〕
- 知識・技能
- ・自ら設定した課題について，その課題の解決に向けた方策を理解することができる。
 - ・大学研究やオープンキャンパスの参加を通じて進路情報の収集の方法を理解することができる。
 - ・大学入試に繋がる志望理由書を作成するための知識技能を身に付ける。
- 思考・判断・表現等
- ・企業人講話や大学模擬講義で得た知識を生かして，社会にできることを考え計画を立てる。
 - ・情報の収集、整理・分析を通して得た考えを自らの言葉で表現する。
 - ・探究活動で得られた学習のサイクルや思考法などを教科学習に応用し，自らの進路学習に結びつけることができる。
- 学びに向かう力・人間性等
- ・仮説の設定，検証，改善といった探究の学習プロセスを通じて，社会課題に対する認識を深め，自己の改善と成長をはかることができる。
 - ・大学訪問や企業人講話などを通じて，自身のキャリアプランについて主体的に考え，その実現に向けて学習や特別活動に積極的に取り組むことができる。
 - ・自らが実社会で何ができるかを考え進路選択に活用する。

◆年間予定授業時間

予定時数	35 時間	1 学期 (14 時間)	2 学期 (15 時間)	3 学期 (6 時間)
------	-------	---------------	---------------	--------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

予習	授業で扱う学習内容に取り組み、授業のテーマに即した取り組みとなるように、自らの考え方をまとめる。
復習	授業のテーマに対して、他者やグループの意見を振り返ることで、学習内容をまとめる。
宿題・課題	授業において、課題の進捗状況をもとに、他者やグループ毎で宿題や課題を決めて、見通しを立てた学習にする。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	・オリエンテーション	1	・令和8年度2学年探究学習について	・進路理解を含めた探究の目的、意義について理解する。
	5	【実践】課題研究 「自由なテーマで探究を行う」①	7	《教材》「キャリアナビ」 1 課題の設定①② 2 情報の収集①②③	・計画的に研究テーマと研究計画書を作成し、情報収集を通じて課題研究に取り組んでいる。
	6	【大学研究】 1 学部・学科の研究 2 志望校の研究 3 オープンキャンパス研究	6	・大学、学部学科に関する理解を深める ・希望分野別ごとに大学に訪問する。	・自身の進路について主体的に考え、情報を積極的に集めることができる。
	7	4 大学探訪			・大学探訪を通じて大学の雰囲気を実際に肌で感じることで、大学に対する理解を深める。
2 学期	8	【実践】課題研究 「自由なテーマで探究を行う」②	8	《教材》「キャリアナビ」 3 整理・分析①② 課題研究中間報告	・収集した情報をもとに整理・分析を行い、妥当性のある課題の検証ができています。
	9	【社会理解】 「ニュースをもとに意見を述べる」	1	《教材》「キャリアナビ」 ・資料に即して自分の意見を述べる。	・ニュースを通じて自分の意見をまとめ、適切に他者に伝えることができる。
	10	【進路研究】 「進路講話」	2	・本校卒業生による進路講話	・様々な学びが社会に繋がることを理解する。
	11	【学問理解】 ・大学模擬講義	4	・大学教員による出張講義	・大学模擬講義で学び得た経験を自身の進路実現に繋がられている。
	12				
3 学期	1	【実践】課題研究 「自由なテーマで探究を行う」③	4	《教材》「キャリアナビ」 4 まとめ・表現（レポート）①～③ 5 振り返り	・計画に基づいた課題研究をレポート形式で発表する。
	2	【進路理解】 「志望理由書作成」	2	《教材》「キャリアナビ」 1 志望理由書について学ぶ 2 素案作成 3 書構想メモ作成	・探究活動を通じた研究を、自己の在り方・生き方に照らし、自己のキャリア形成の方向性と関連付けられている。
	3			4 添構想メモ手直し 5 清書	・志望理由書の作成を通じて、自己表現の仕方や適切な文章表現について理解する。